

研究課題名	原爆被爆者から提供された造血器悪性腫瘍組織のゲノム解析による 被爆者特異的疾患責任遺伝子の同定
所属	長崎大学 原爆後障害医療研究所 原爆・ヒバクシャ医療部門 血液内科学研究分野（原研内科）
研究責任者	宮崎 泰司（職名：教授）
共同研究機関	<p>【研究代表機関】（検体・臨床情報収集・保存、データ解析）</p> <p>長崎大学 原研内科 教授 宮崎 泰司</p> <p>【共同研究機関】</p> <p>（検体・臨床情報収集）</p> <p>佐世保市総合医療センター 血液内科 管理診療部長 森内 幸美</p> <p>国立病院機構 長崎医療センター 血液内科 統括診療部長 吉田 真一郎</p> <p>日本赤十字社 長崎原爆病院 血液内科 血液内科部長 城 達郎</p> <p>長崎みなとメディカルセンター 血液内科 主任診療部長 對馬 秀樹</p> <p>聖フランシスコ病院 血液内科 血液内科部長 高崎 由美</p> <p>五島中央病院 血液内科 内科長 今西 大介</p> <p>放射線影響研究所 副部長 今泉 美彩</p> <p>（データ解析）</p> <p>長崎大学原爆後障害医療研究所</p> <p>放射線生命科学部門 人類遺伝学分野（原研遺伝） 教授 吉浦 孝一郎</p> <p>京都大学大学院医学系研究科 腫瘍生物学講座 教授 小川 誠司</p> <p>【個人情報管理者】</p> <p>長崎大学病院細胞療法部 副部長 長井 一浩</p>
研究期間	<p>本研究は長崎大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会で審査され、長崎大学学長の許可を得て実施しています。</p> <p>長崎大学学長許可日 2012年11月27日 ～ 2022年11月26日</p>
研究目的と意義	<p>原爆被爆者から60年以上が経過し、これまでの様々な研究により原爆被爆者の方に骨髄異形成症候群などの造血器悪性腫瘍の発症が多いことが明らかとなりました。しかし、なぜ被爆者の方にこのような造血器悪性腫瘍の発症が多いのか、原爆による放射線が人体にどのような影響を与えているのかはまだ解明されていません。科学技術の進歩により、近年では私たちの体の設計図とも言える「遺伝子（ゲノム）」の詳細が明らかとなり、病気の原因を遺伝子レベルで調べることができるようになりました。このような科学技術を用い、被爆者の方で造血器悪性腫瘍の発症に関わる遺伝子の異常を解明し、放射線がヒトに及ぼす影響について解明することが本研究の目的です。</p>
研究内容	<p>●対象となる患者さん</p> <p>原爆被爆者で造血器悪性腫瘍（白血病、骨髄異形成症候群、骨髄増殖性疾患、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など）を発症した患者さん。</p>

	<p>●利用する情報／試料</p> <p>診療目的に採取・保存された骨髓血、末梢血、骨髓スミア、骨髓クロット、リンパ節組織等の検体の残りを利用します。また、診断名や年齢、性別、検査結果などの診療情報も利用します。</p> <p>上記の検体・臨床情報収集の共同研究機関で採取・保存されていた検体や臨床情報も本研究に利用します。</p> <p>利用に際しては、氏名や住所などの個人情報削除する匿名化を行い、研究用IDで検体や情報を管理します。また、必要な場合に検体や情報の提供者を識別できるよう、氏名・生年月日などと研究用IDとの対応表を作成します。匿名化および対応表の作成は各施設の個人情報管理者によってなされ、対応表は個人情報管理者により厳重に保管されます。</p> <p>●研究方法</p> <p>検体からDNAやRNAを抽出し、次世代シーケンサーなどの解析機器を用いゲノム・エピゲノム解析を行います。解析結果と診療情報をあわせてさらに解析します。</p> <p>ゲノム解析は原研内科、原研遺伝、および京都大学腫瘍生物学講座で行われ、京都大学へは匿名化されたDNAなどの試料や塩基配列データを送付し解析を行います。また、ゲノム解析の一部を外部の検査機関に委託する場合があります。</p> <p>遺伝子解析の結果得られた全ゲノムの塩基配列などのゲノムデータは、独立行政法人科学技術振興機構（JST）/バイオサイエンスデータベースセンター（NBDC）が運営するJapanese Genotype-phenotype Archive（JGA）に一定の制限を設け保存され、同機関の審査の上許可された利用者に公開される可能性があります。またこの場合匿名化は維持されます。</p> <p>本研究に用いた検体や情報は匿名化を維持し、本研究終了後も当研究科にて保存します。</p> <p>また、本研究で解析した方の中で、研究課題名「原爆被爆者における造血器悪性腫瘍発症時の同定に関する研究（許可番号 20170601）」の研究対象となっている方については、本研究での解析結果（ゲノムデータを含む）や残余検体を、匿名化を維持した状態で当該研究に利用します。</p>
問い合わせ先	<p>研究に関するご質問等がある場合には下記へお問い合わせください。</p> <p>【問い合わせ先】</p> <p>長崎大学 原爆後障害医療研究所 原爆・ヒバクシャ医療部門 血液内科学研究分野（原研内科）</p> <p>宮崎 泰司（職名：教授）</p> <p>住所：長崎市坂本1丁目12-4</p> <p>電話：095（819）7111 FAX 095（819）7113</p>